史跡宇治川太閤堤跡保存整備フォーラム

じっくり見よう!! 太閤堤

平成 28 年 11 月 19 日（土）

午後１時３０分～午後４時３０分

宇治公民館　　第一会議室

プログラム

13：30　～　開会

開催趣旨

宇治市歴史まちづくり推進課　荒川 史

13：40　～　報告

「史跡宇治川太閤堤跡のこれまでの取り組み」

宇治市歴史まちづくり推進課　　大野 壽子

14：10　～　現地見学

15：40　～　休憩(質問用紙回収)

15：50　～　ディスカッション

司会　歴史まちづくり推進課　荒川 史

都市整備副部長　　平野 正人

歴史まちづくり推進課　杉本 宏

大野 壽子

16：30　～　閉会

史跡宇治川太閤堤跡
と
宇治の観光

太閤堤とは？

【秀吉の行った主な普請】
- 長浜城
- 山崎城
- 大阪城
- 妙顕寺城
- 聚楽第
- 御土居
- 伏見城（指月城）
- 宇治川堤・小倉堤
- 伏見城（木幡山城）
- 淀川堤

秀吉の年表

1537年　尾張に生まれる

1554年　織田信長に仕える（17歳）

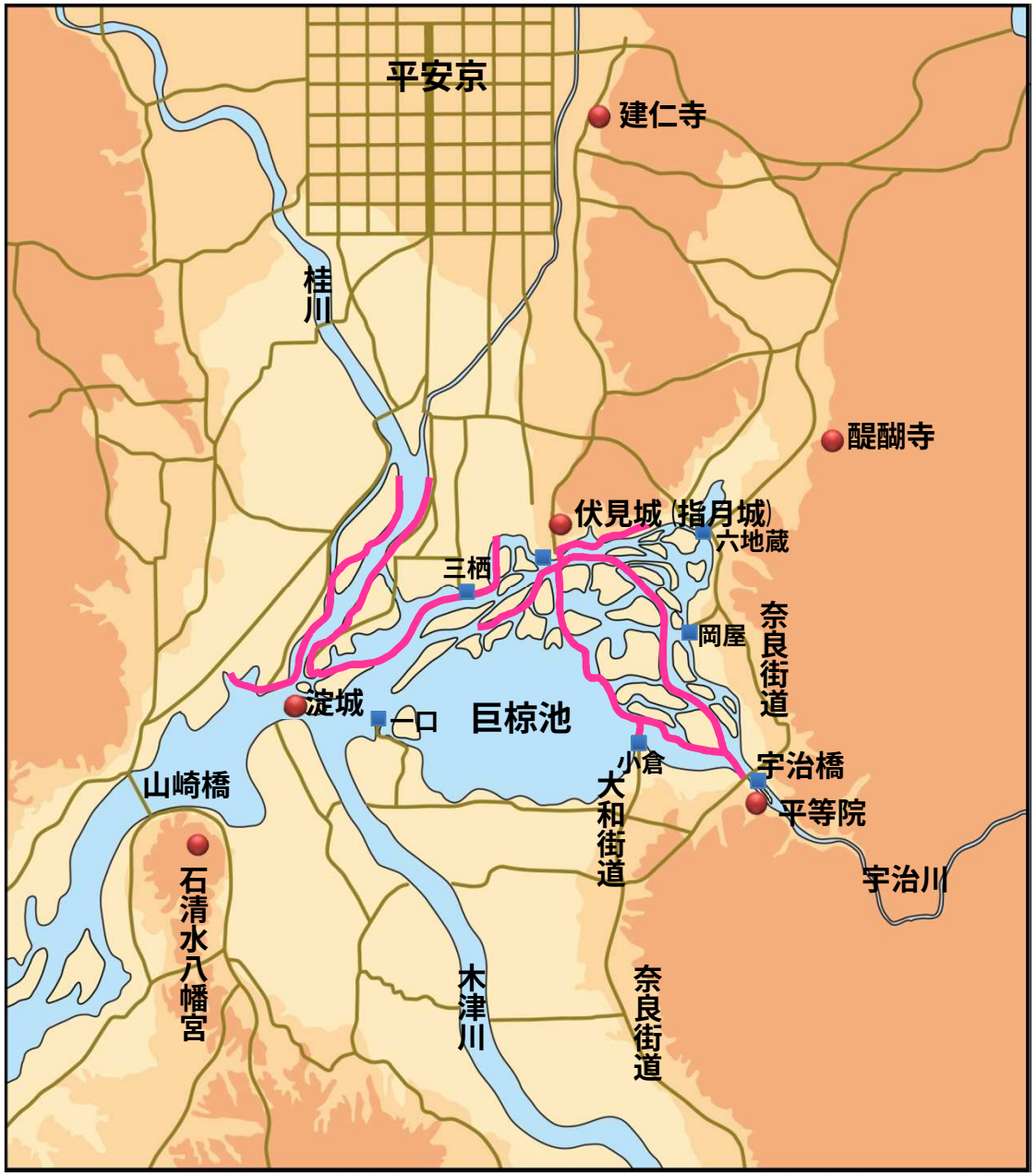
1574年　長浜城を築城（37歳）
1576年　安土城を築城（39歳）
1582年　本能寺の変で織田信長は割腹自害
1582年　山崎の合戦で明智光秀は死亡
1583年　大阪城を築城（46歳）
1585年　左大臣（従二位）関白職になる（48歳）
1587年　太政大臣（従一位）太閤になる（50歳）
1590年　日本全土の平定を成し遂げる（53歳）
1592年　朝鮮出兵（55歳）
1594年　伏見城に入城（57歳）
1596年　慶長大地震（伏見城倒壊）
1597年　二度目の朝鮮出兵（60歳）
1598年　伏見城で死去（62歳）

1593年　太閤堤の普請開始
1594年　太閤堤の普請終了

秀吉の伏見副都心化計画

川という運河と堤という道路

太閤堤とは？



「太閤堤」は、文禄3年（1594年）、豊臣秀吉の伏見城築城に伴って行われた、淀川・宇治川の大規模な治水土木工事の総称

宇治川と巨椋池を分離することで、水運航路の確保が実現

堤の上を道路として利用することで、新たな街道が形成され、人の流れが変化

伏見を陸上・水上交通の要衝に

太閤堤に関する記事

和暦	西暦	月	日	事件	出典
文禄3	1594	8	8	家康家臣松平家忠が宇治川築堤を秀吉から命じられ淀堤につく	『家忠日記』
			9	淀堤が完成する	『家忠日記』
			25	徳川に真木嶋堤の築堤役があたる	『家忠日記』
		10		秀吉が前田利家に宇治川に堤防を築かせる この工事に際して利家が家臣と土運びを行い、秀吉が船で激励に来る。大釜を川辺に十ほど作り粥を煮て五六千の者にふるまった	『村井重頼覚書』 『亜相公夜話』
				この年、岐阜城主織田秀信が小倉伏見間に堤を作り宇治橋を撤去する	『宇治里袋』
慶長1	1596	1	16	秀吉が毛利輝元、小早川隆景、吉川広家および東国の諸大名に摂津の淀川に築堤を命じる	『吉川家文書』
		6		淀川の築堤工事計15000間のうち、吉川広家に4000間が分担される	『吉川家文書』

現代に引き継がれる
秀吉の遺産

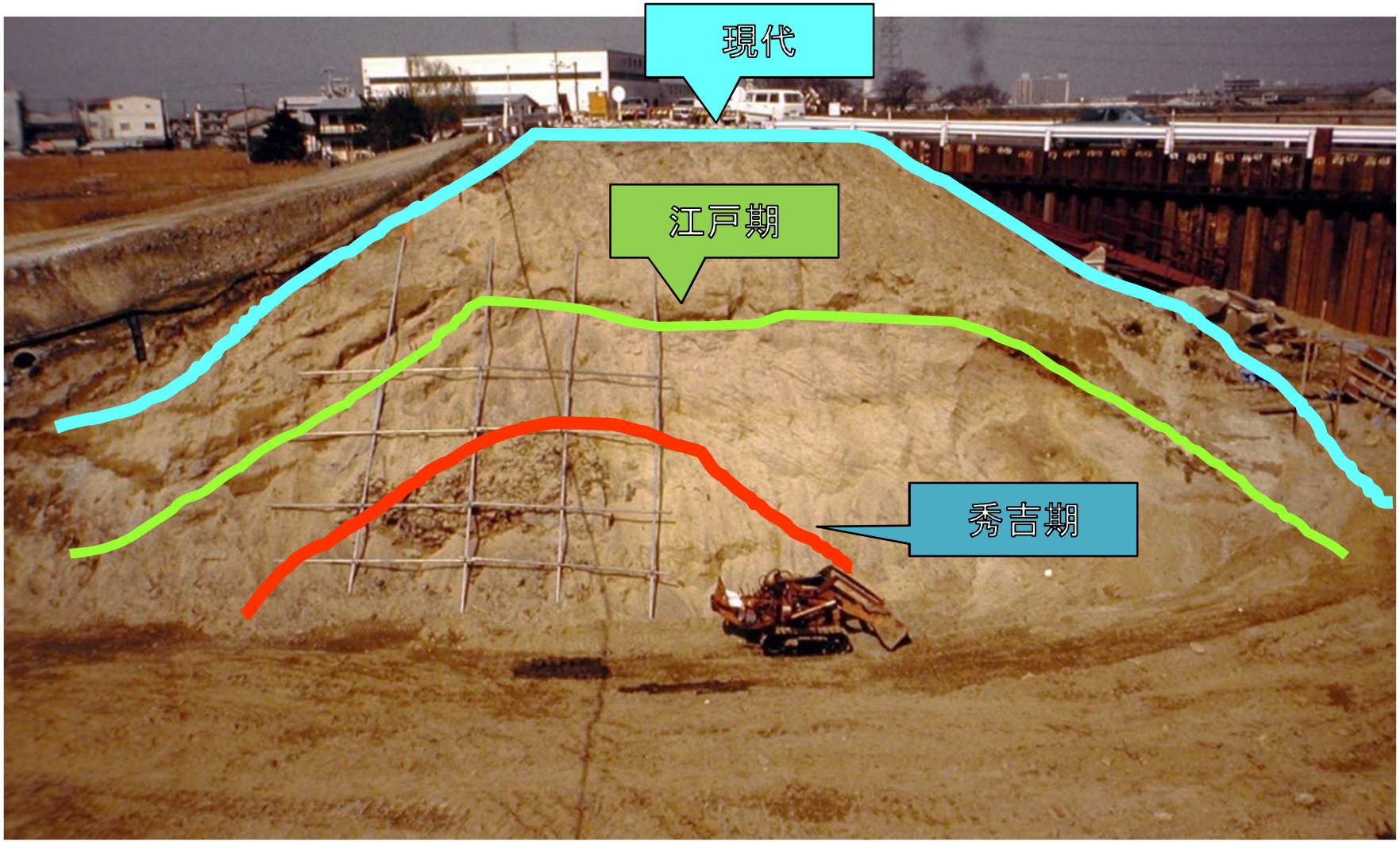
豊後橋
（観月橋）
槇島堤
小倉堤
史跡宇治川
太閤堤跡
宇治橋周辺
伏見区
宇治市

昭和54年槇島堤調査

小倉堤

明治末年頃の小倉堤

槙島堤の調査
(昭和54年)



遺跡の位置1

発掘調査前

土地区画整備事業に伴う調査

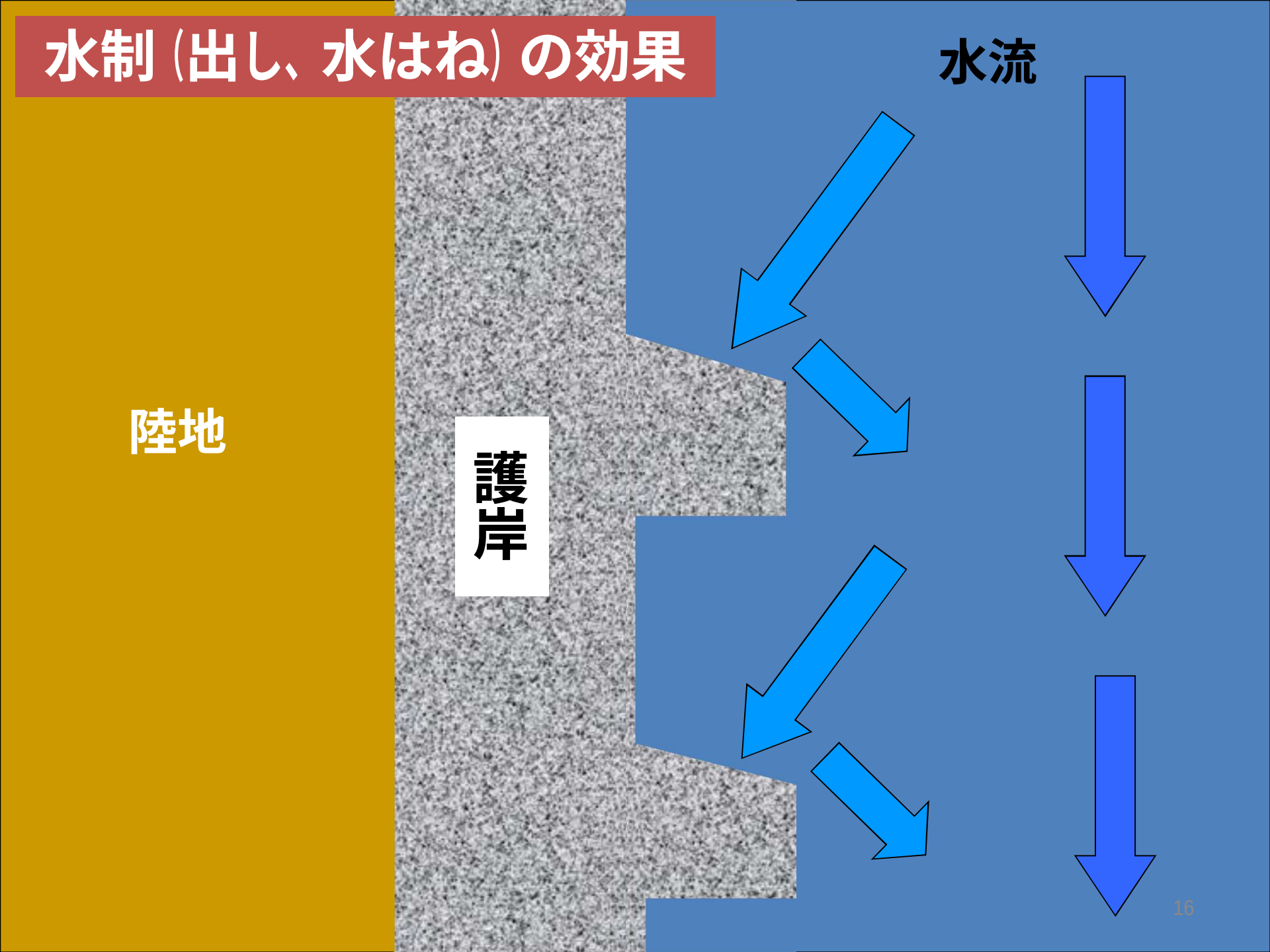
変な石が並んでる。何だろう？

石敷きが細長く伸び始める。道かな？？

平成19年　宇治川太閤堤跡　発見！

石出し

水制（出し、水はね）の効果



杭出し

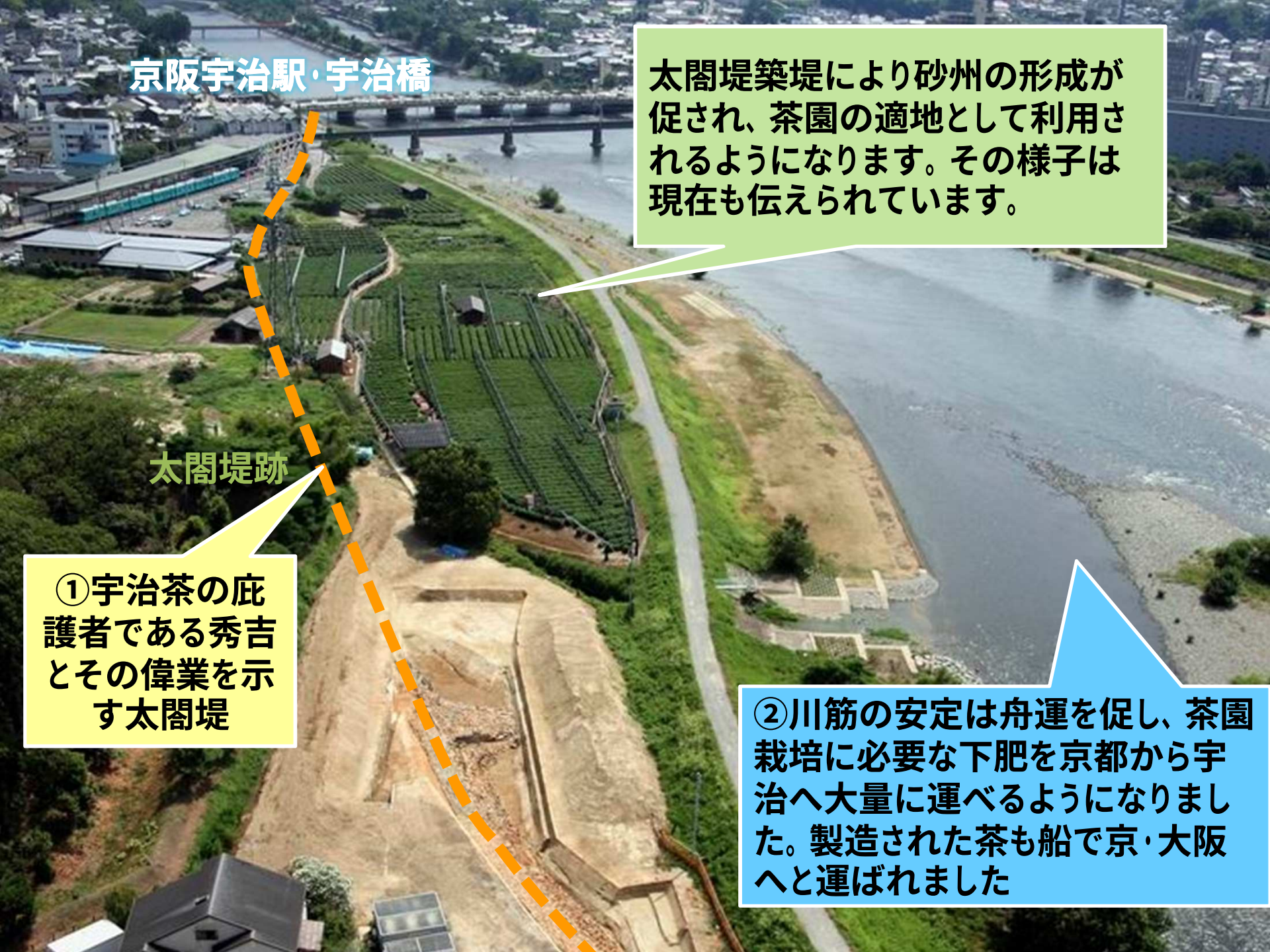
護岸施設の広がり

その後の調査で、護岸施設は総長４００m以上になることが明らかになりました。

宇治にとっての太閤堤

私たちのよく知る、現在の宇治川の川筋をつくり
よく利用する交通ルートをつくる

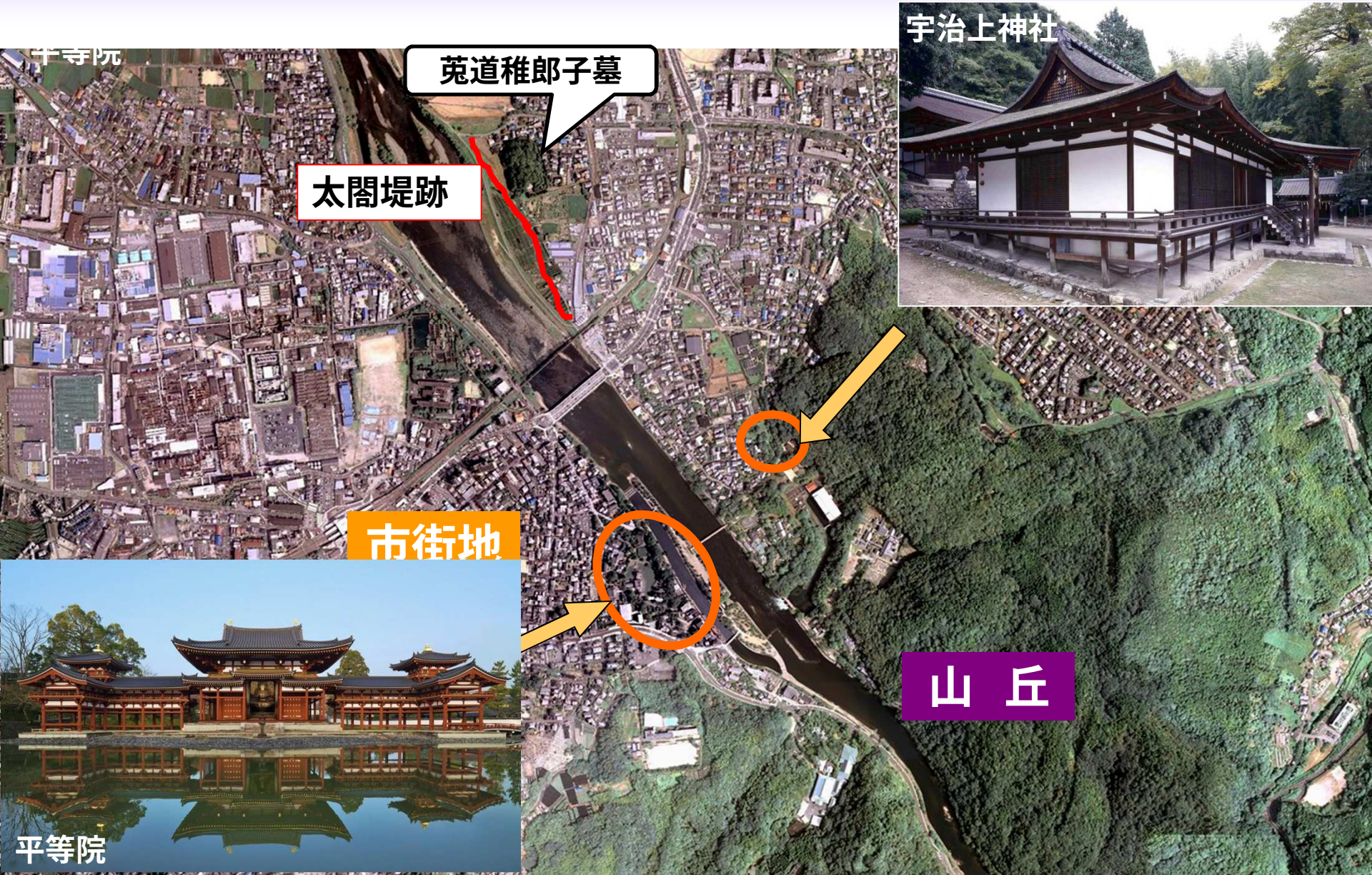
宇治茶の発展にも・・・


京阪宇治駅・宇治橋
太閤堤築堤により砂州の形成が促され、茶園の適地として利用されるようになります。その様子は現在も伝えられています。
太閤堤跡
①宇治茶の庇護者である秀吉とその偉業を示す太閤堤
②川筋の安定は舟運を促し、茶園栽培に必要な下肥を京都から宇治へ大量に運べるようになりました。製造された茶も船で京・大阪へと運ばれました

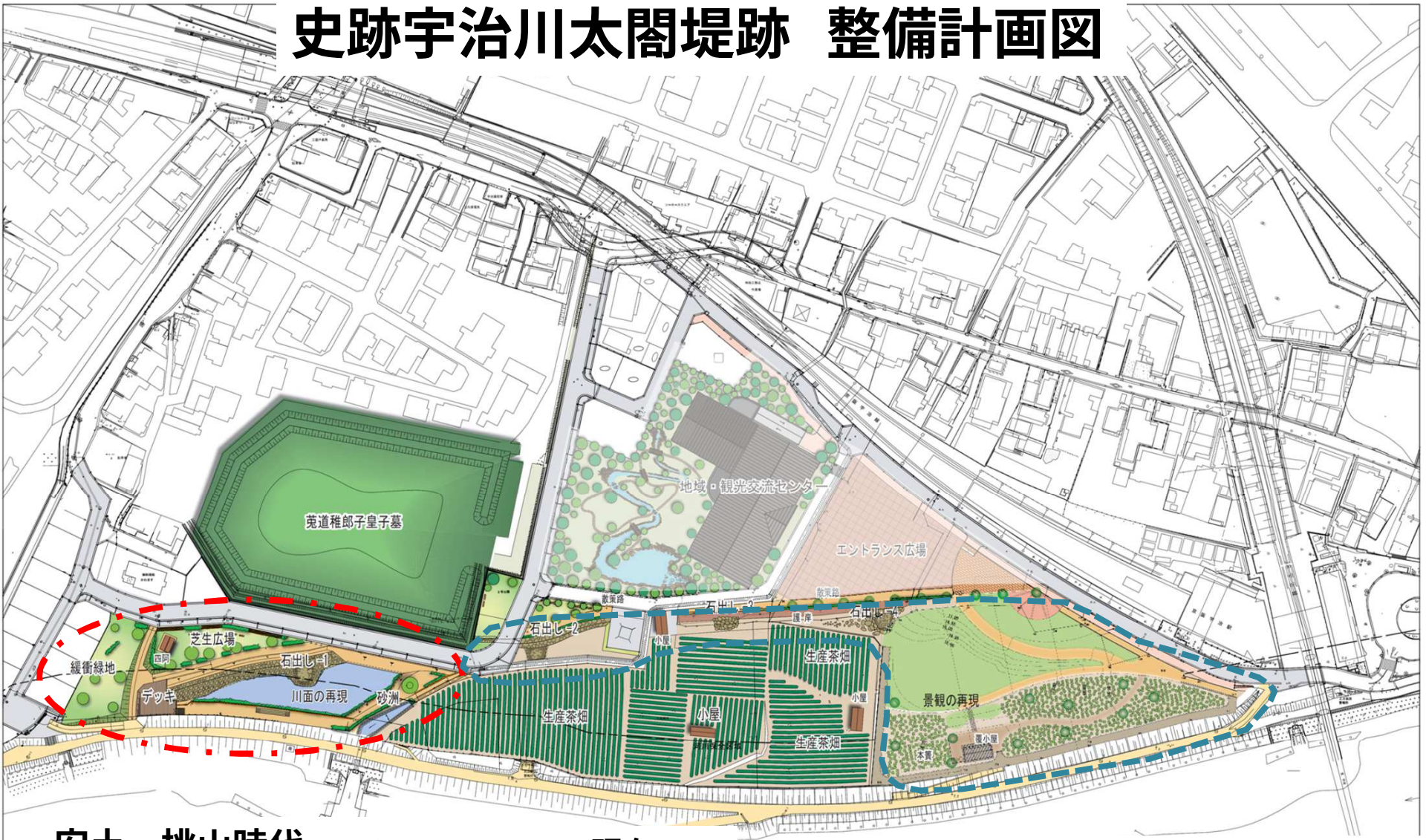
平安貴族の別業　宇治　から

お茶のまち　宇治　へ

宇治の歴史・観光の中心部



史跡宇治川太閤堤跡　整備計画図



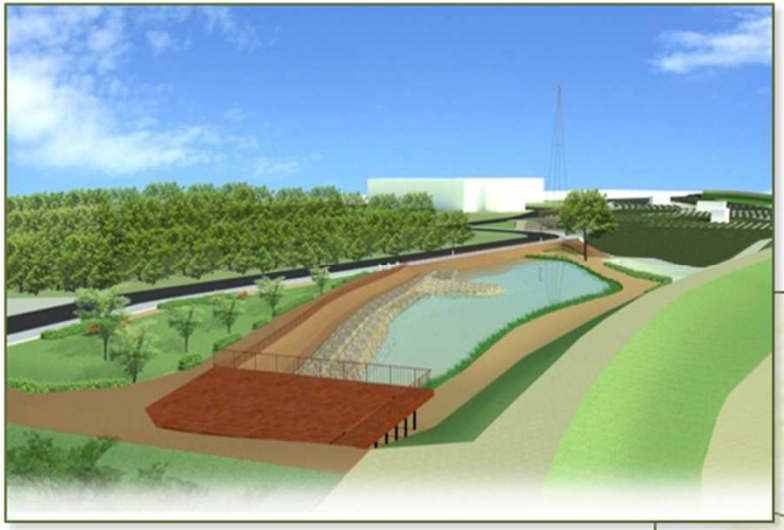
安土・桃山時代
の太閤堤を再現

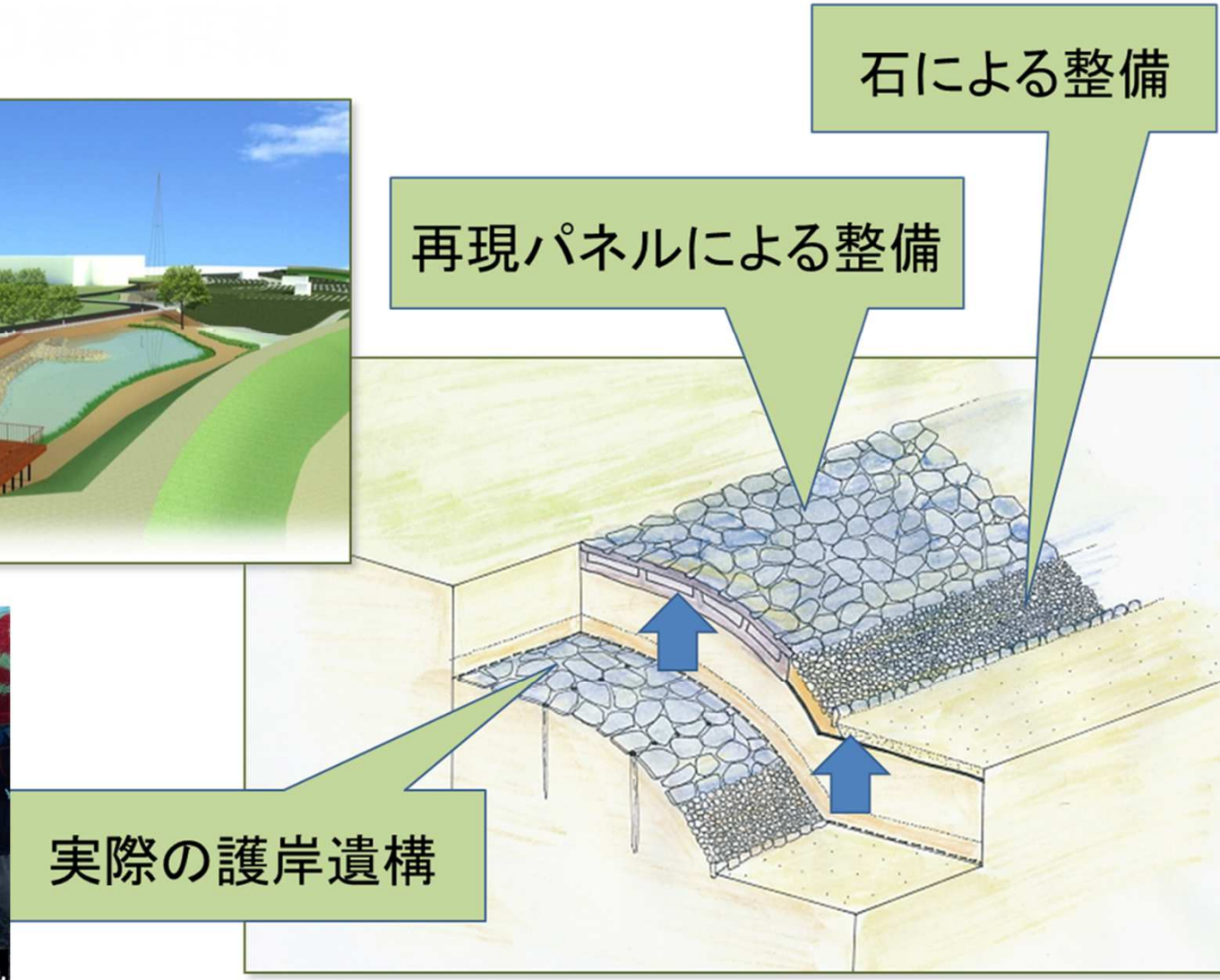
現在
生産茶園

江戸から明治時代
砂州に埋まった太閤堤と茶園を再現

・太閤堤の再現

秀吉がつくった護岸施設を最新の技術でそっくりそのまま再現！！





平成25年
石積護岸の一部を
再現！

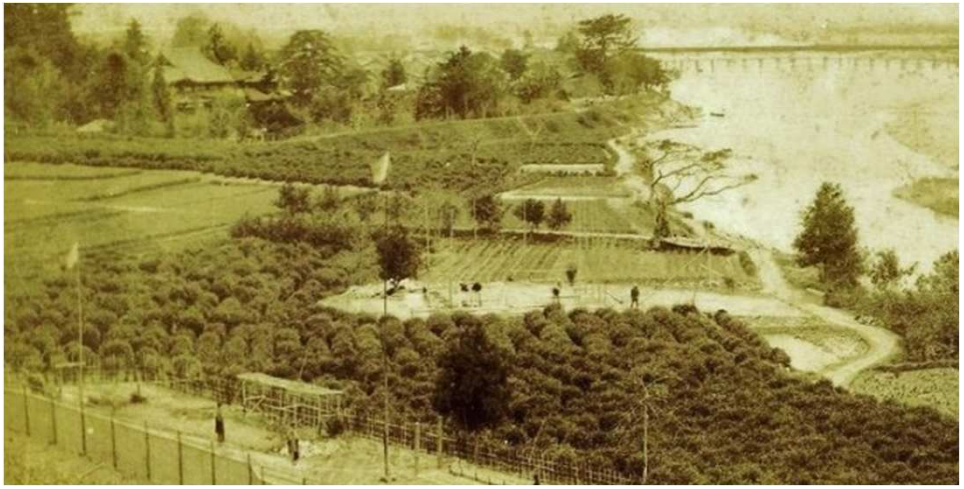
上半分の貼り石部はＧＲＣパネル
下半分はみんなで石を積みました。

昔の道具に
チャレンジ！

- 砂に埋もれていく太閤堤と

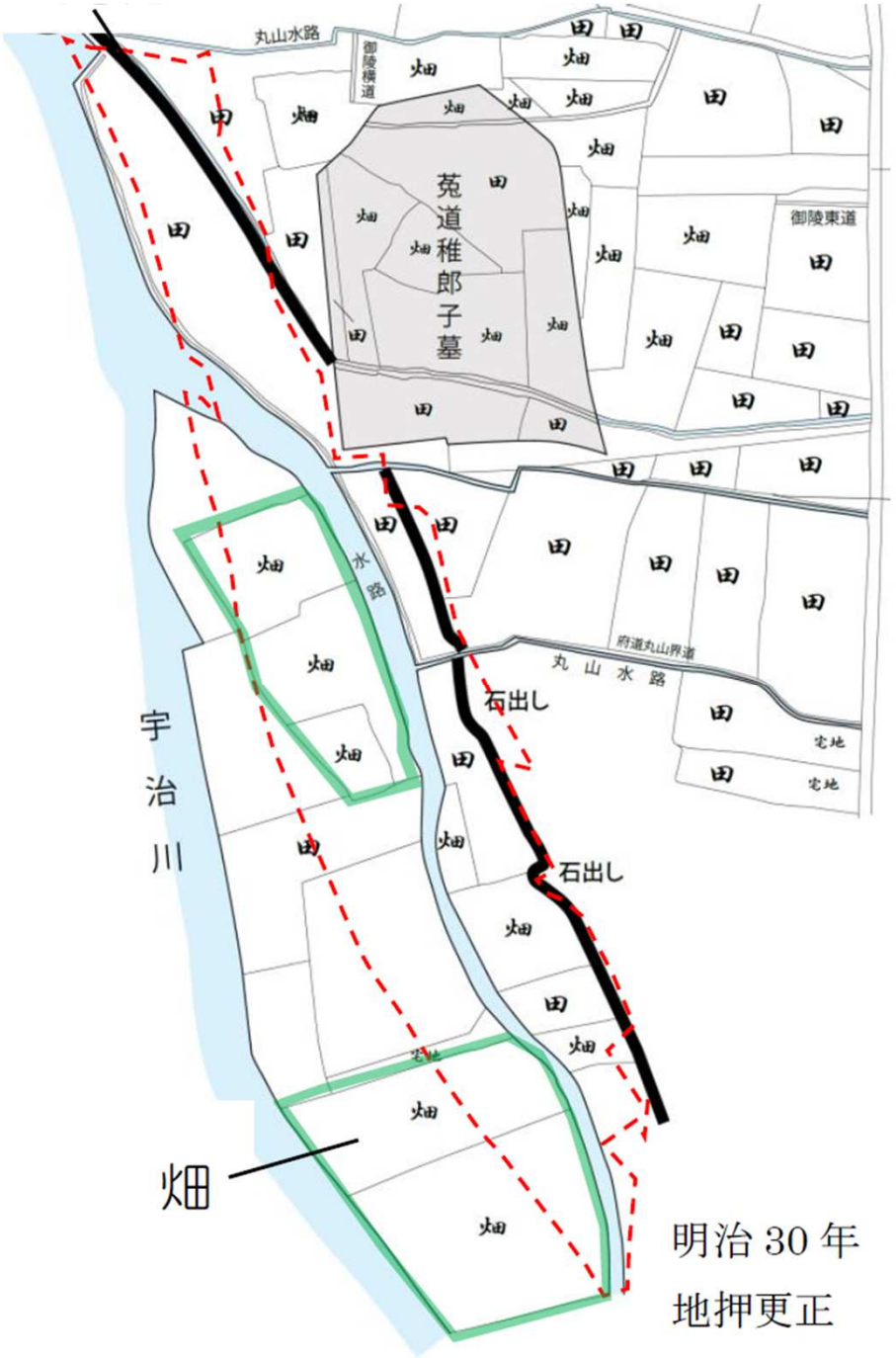
砂州に営まれた **茶園の景観** 再現

伝統的な株植えの茶園。もこもことしっかりとしたボリュームのある茶株の連なりが美しい。



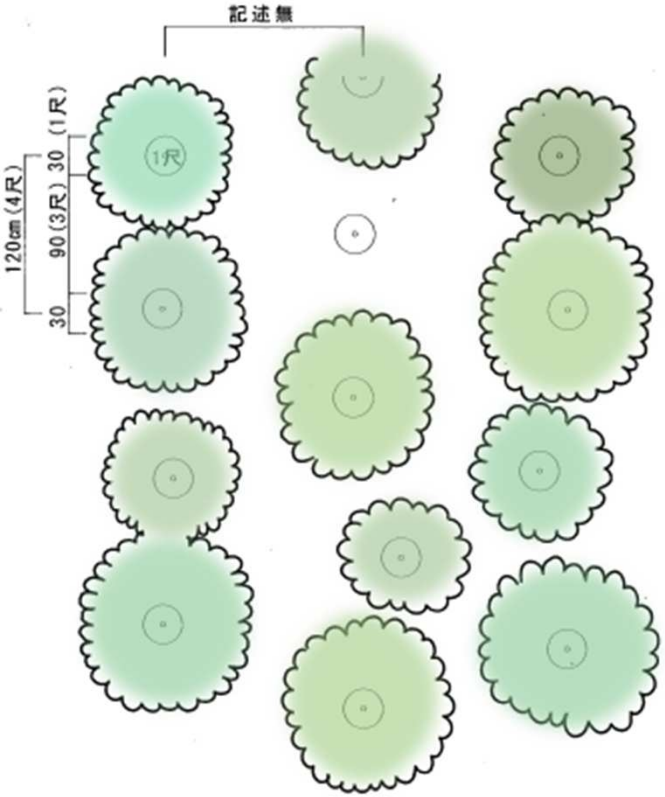
明治中頃の宇治川畔の茶園。見事な株植え茶園

整然とした畝状の茶畑は機械化の所産です

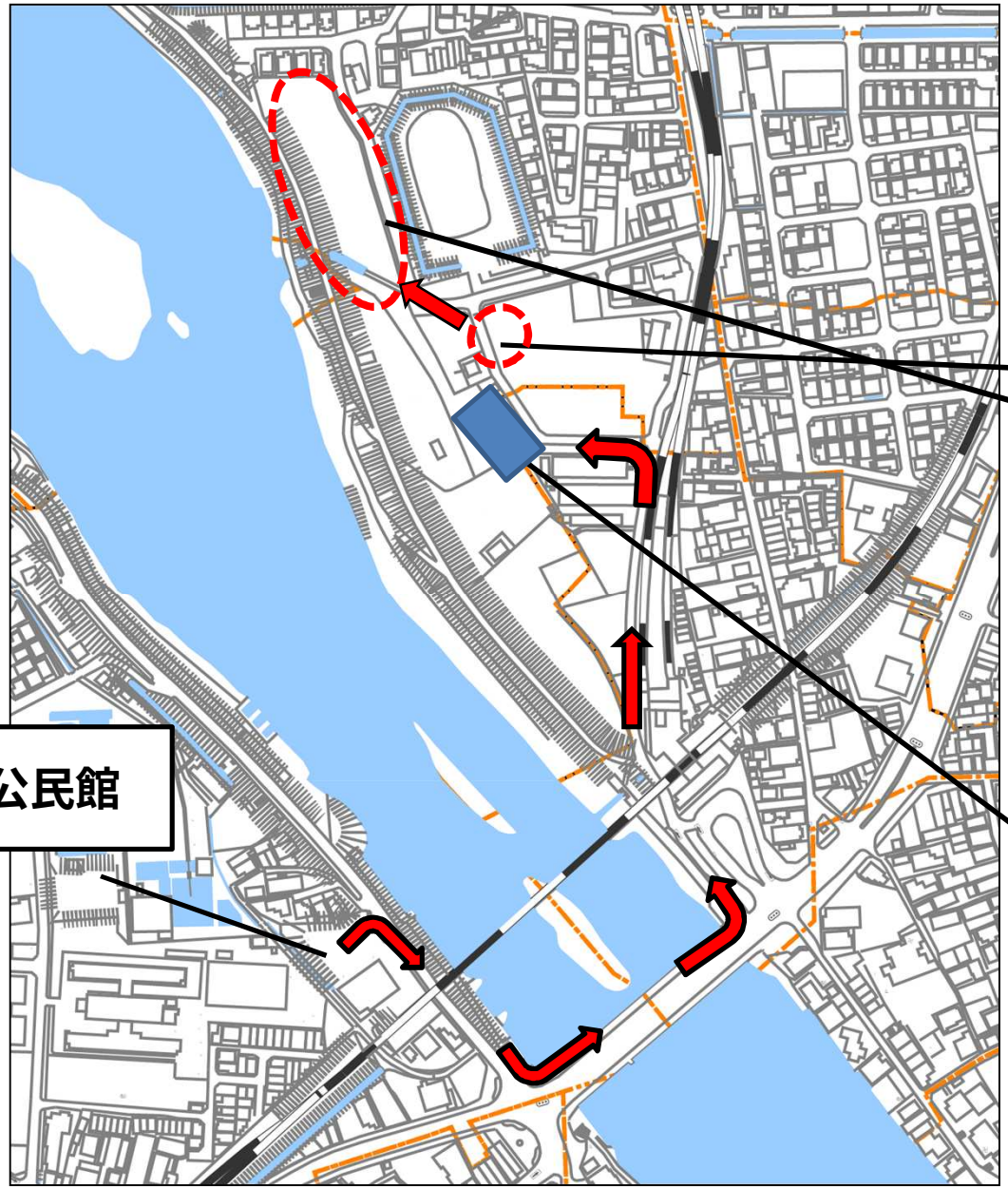


明治 30 年
地押更正

三尺間をおいて一尺の穴　『農業全書』



現地見学



宇治公民館　14:10　出発

↓

太　閤　堤　14:25　着

↓

現地見学　2班　交代

再現した石積護岸と
Aゾーンの基礎工事

A班
14:25〜14：50

↓

15：00〜15：25

B班
15:00〜15：25

↑

14：25〜14：50

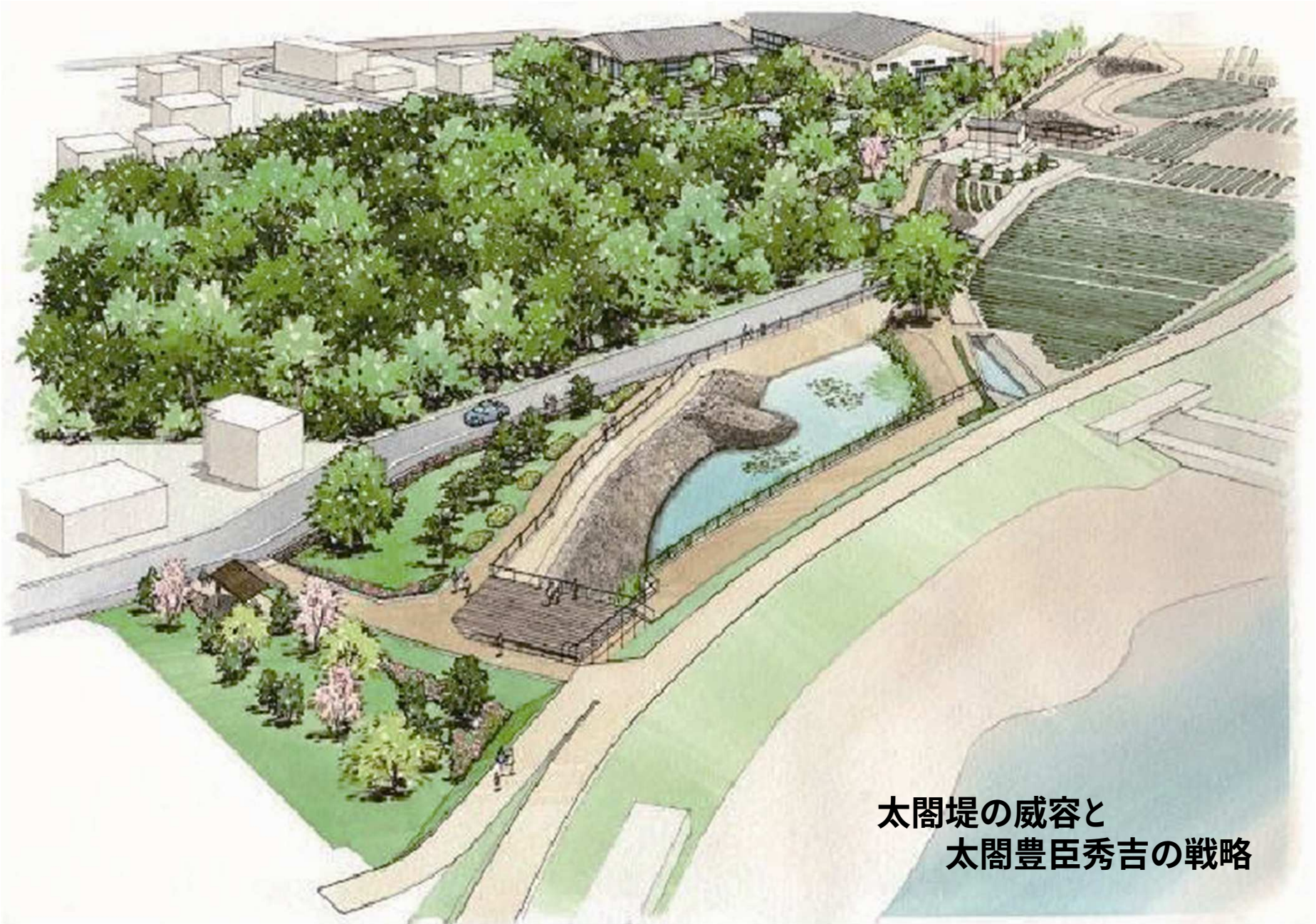
発掘中の石出し3

太　閤　堤　15:25　出発

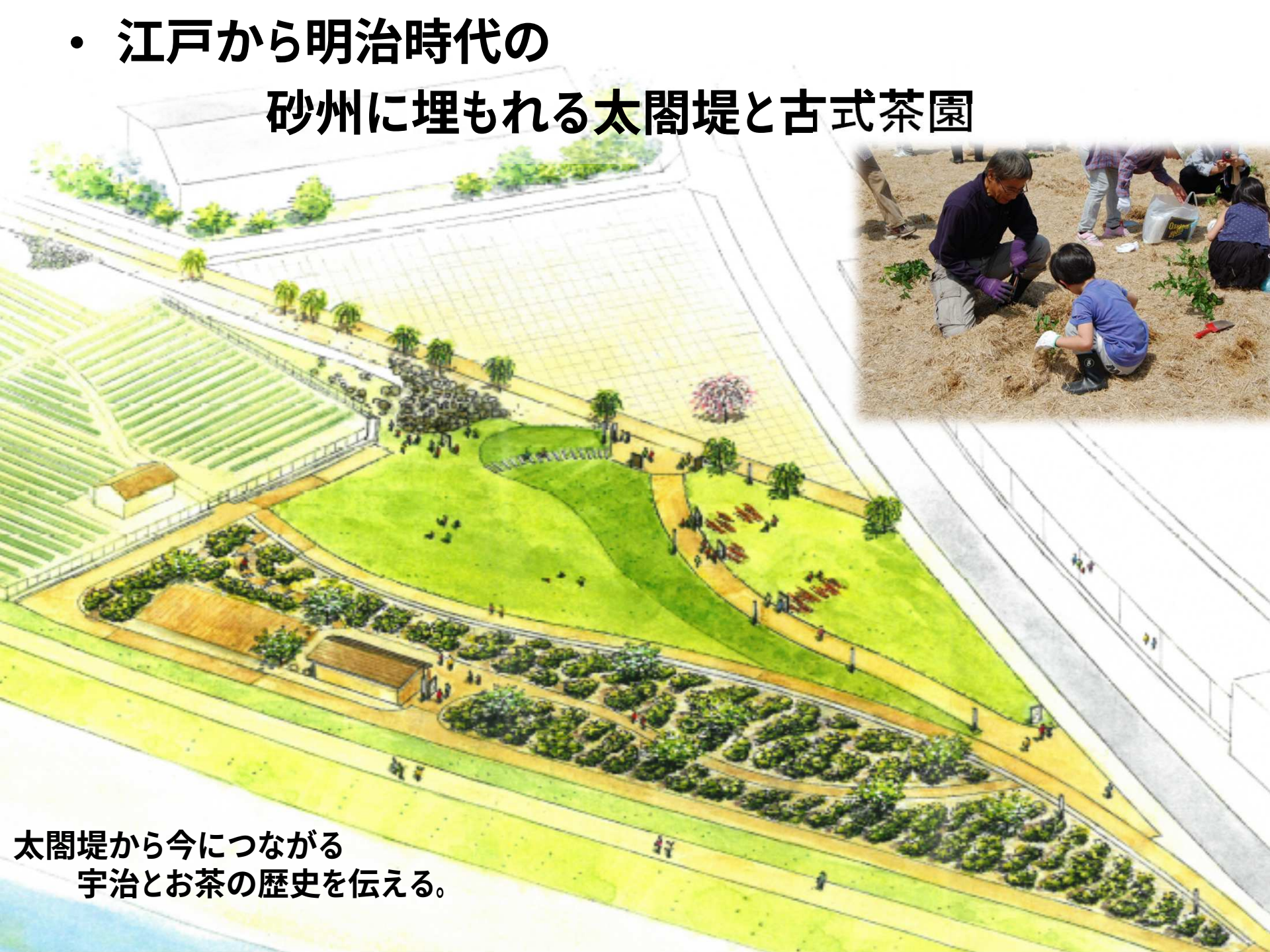
↓

宇治公民館　15:40　着

- 安土･桃山時代の太閤堤を再現

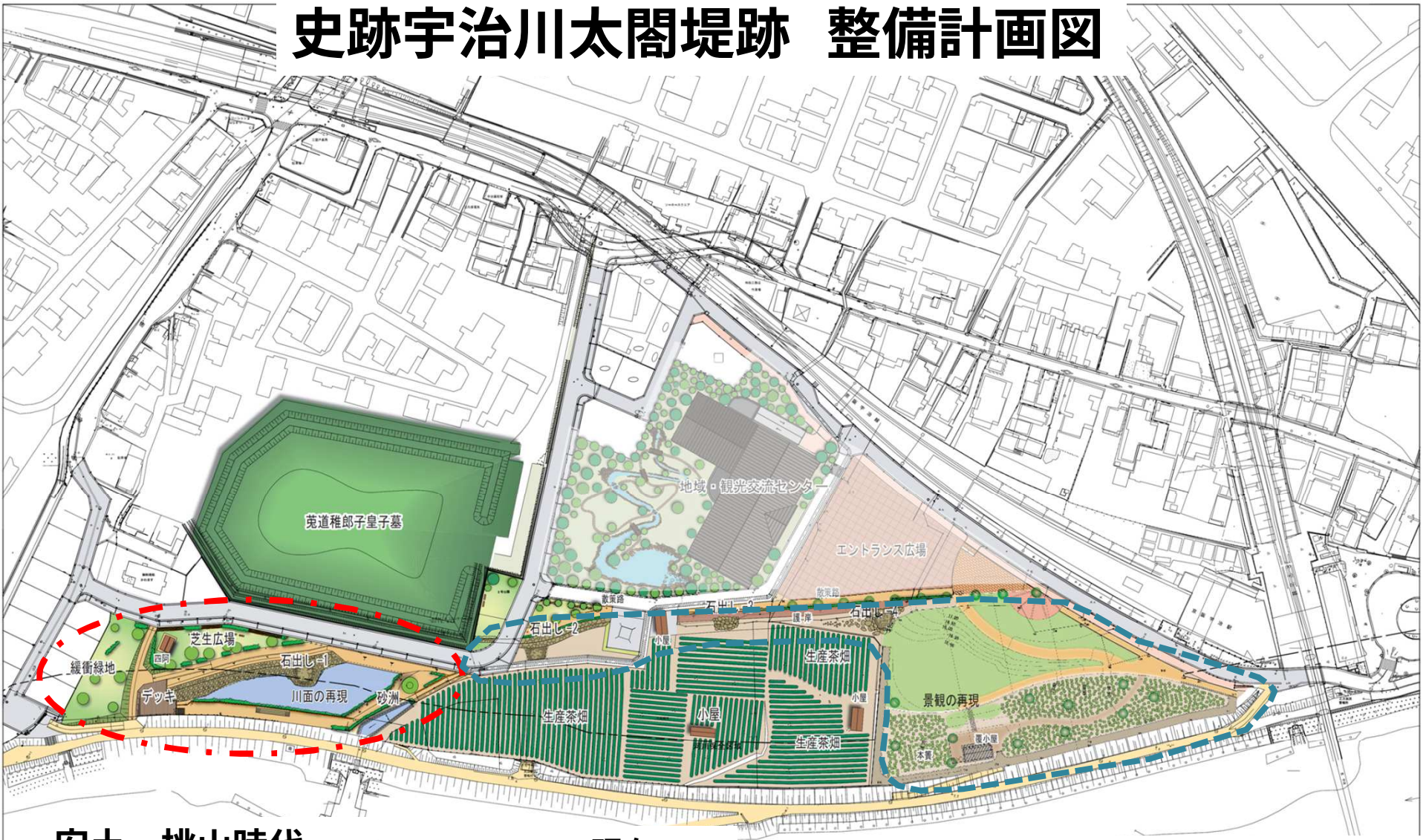


- 江戸から明治時代の
  砂州に埋もれる太閤堤と古式茶園



太閤堤から今につながる
宇治とお茶の歴史を伝える。

史跡宇治川太閤堤跡　整備計画図



安土・桃山時代
の太閤堤を再現

現在
生産茶園

江戸から明治時代
砂州に埋まった太閤堤と茶園を再現

太閤堤
歴史公園
実空間と結びつく歴史文化情報
宇治まるごとミュージアム
宇治駅
橋寺放生院
宇治橋
正覚院
宇治上神社
橋姫神社
末多武利神社
宇治神社
宇治駅
恵心院
興聖寺
最勝
平等院
浄土院
県神社
十三重石塔
東禅院
重要文化的景観地
歴史豊かな宇治地区
0
500m